

公表:令和 4年 3月31日

事業所名 ピッピ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数に対して確保されている。机の配置の工夫で、活動場所を区切っている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		2階であるが、階段に手すりがある。	ニーズに合わせて改善すべき点が出てきたらすぐに上司に相談していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日頃のSU,FBを職員間で行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			コンサルテーションを受け、外部からのアドバイスを頂いている。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			朝研修や今年度はzoomでの研修に参加した。	研修には積極的に参加し、専門性を高めていけるように努める。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			職員間も共有し、日々の療育での狙いを共通理解している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週金曜日に、次週の学びの時間の内容を職員間で話し合っ決めて。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に合った制作や、実験、お誕生会、トークtimeを取り入れた。	高学年であるため、来所時間が遅く外活動が少なかったため、少しでも多く取り入れていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			臨時休校にも施設全体で連携して対応出来た。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			リーダー、サブリーダー、アシストや立ち位置など臨機応変に連携し合えた。	

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎等で、直接その日のうちにできないこともあるが、次の日には共有している。		
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			基本その日のうちに、難しい時には次の日までには記録を取ることが出来た。		
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			施設全体でモニタリング時期等を確認し合えたため、スケジュールを立てて取り組めた。		
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○					
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○					
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			春先は送迎のミスがあったため、2重のチェック体制を作り、送迎ミス0の月を継続できた。	送迎ミスのないように、職員間の確認を細目にしていく。	
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○				
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○					
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			中学校の特別支援級の見学や、情報共有を行うことが出来た。		
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		特に、行事等計画はなかった。		
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○					
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				気になることなど気軽に話せる関係を築くことが出来た。	
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				月に1回のグループカウンセリングを実施した。また、日頃から褒める関りや、感情をコントロールすることについて話し合えた。	参加者に偏りがあり、必要性に合わせて声掛けを行っていく。

保護者への説明責任等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			母の状態や、子どもの状態により電話や家庭訪問などで聞き取り助言することが出来た。	保護者との信頼関係を深め、困り感を話せるように、継続して日頃からコミュニケーションを大切にしていきます。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親子発達支援を計画し、コロナの影響で2回目は中止になったが1回目は行うことが出来た。	
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの苦情に対して、上司、理事長に報告、アドバイスを受け対応することが出来た。	
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑥	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		重度の子どもに対して、スケジュールをイラストで示すなどしている。	苦手意識の強い子もいるので、活動内容や学びの時間の特に社会や国語等に工夫をしています。(特に社会や国語)
非常時等の対応	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			特に感染症対策について施設の対応をお便りで配布した。	
	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回事業所での避難訓練、地域の小学校への大避難訓練を行った。	
	④②	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			週1回助けを求め、助けに入る練習を行った。	
	④③	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの子どもはいなかったが、対応については周知されている。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットがあった場合には、上司に報告し、苦情処理委員会に報告している。		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。